

RØDE[®]
MICROPHONES



STEREO VIDEOMIC



USER'S MANUAL
日本語版



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はRODE STEREO VIDEOMIC(SVM)をお買い上げいただき、誠に有難うございます。SVMは今や業界を代表するカメラ用ショットガンマイクとなったRODE VIDEOMICのクオリティー、パフォーマンスをそのままに、要望が高かったステレオシステムへの対応を実現した商品です。後方からの音を抑え、更に低ノイズを実現、リアルな背景音を捉える事が出来ます。SVMをスタンドやオプションのブームポールにセットし、カメラに取り付けたVIDEOMICやブームポールに取り付けたNTG1/2と一緒にレコーディングを行えばSVMをリモートマイクとして使用することも可能、簡単なミキサーを用いてプロフェッショナルなオーディオトラックを製作する事も可能です。製品の性能を最大限に発揮し、末永くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保存して下さい。

特徴

- XY方式ステレオコンデンサーマイク
- 各種放送収録にも対応可能なサウンド・クオリティー
- 頑丈なキャストアルミ製ポディー
- 9V電池駆動
- 専用ウィンドジャマー
- 低ノイズ回路設計、低ハンドリングノイズ
- ビデオカメラに取り付け可能なホットシュー仕様

仕様

音響方式：グラディエント

指向性：カーディオイド

周波数特性：40 Hz~20,000Hz、ハイパスフィルター(80Hz 12dB/オクターブ)

出力インピーダンス：200 Ω

S / N 比：79 dB(A- weighted per IEC651)

等価ノイズ：15 dB SPL(A-weighted per IEC651)

最大 SPL：130 dB (@1kHz, 1% THD into 1Ω)

感 度：-44 dB re 1 V/Pa

(6.3 mV/Pa @94 dB SPL)+/-3 dB @ 1kHz

ダイナミックレンジ：115 dB SPL(A-weighted per IEC651)

使用電源：7mA, 9V DCアルカリ乾電池(NSI:1604A / IEC6LR61)

乾電池寿命：60時間

出力端子：ミニ・ステレオフィーンプラグ

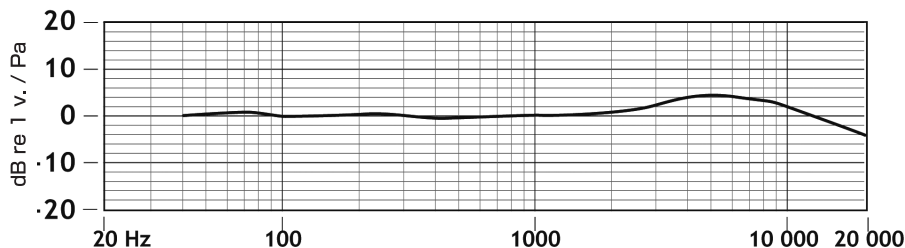
(左チャンネル：チップ/右チャンネル：リング)

重量(電池のみ)：330g

梱包重量：470g

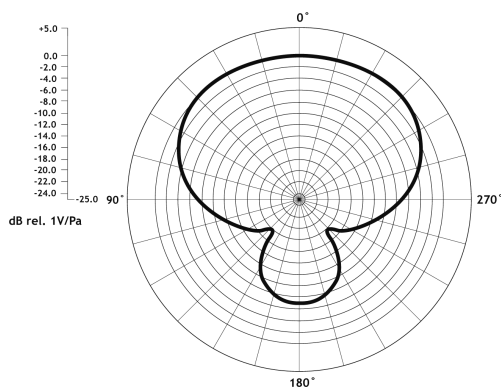
外 寸：172mm(全長) x 100mm(高さ) x 64mm(幅)

周波数帯域：

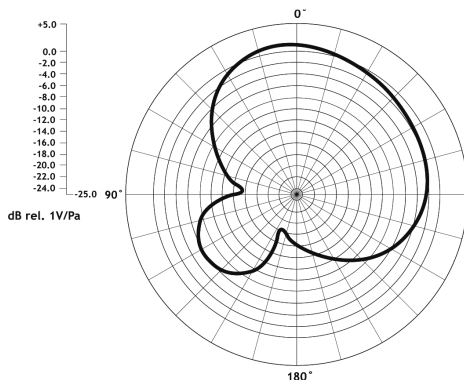


ポーラ・パターン：

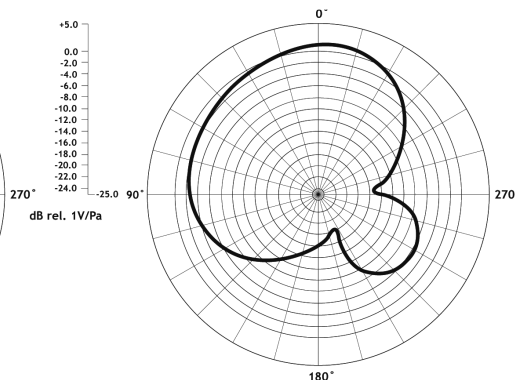
Super Cardioid - 250 KHz



Super Cardioid - 1 KHz



Super Cardioid - 1 KHz



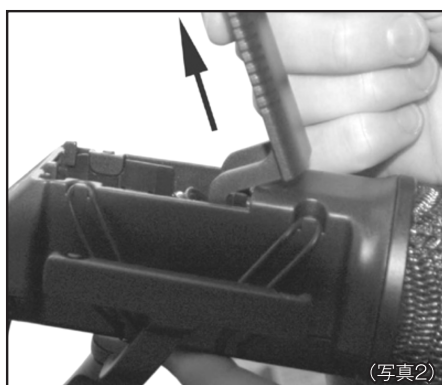
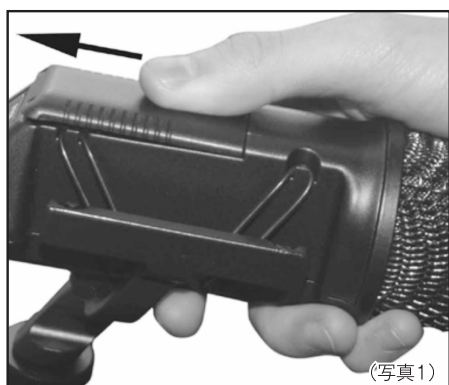
バッテリーの取り付け

SVMは9Vアルカリ乾電池で電源を供給します。長時間使用する際はアルカリ電池、もしくはリチウム電池をお勧めします。

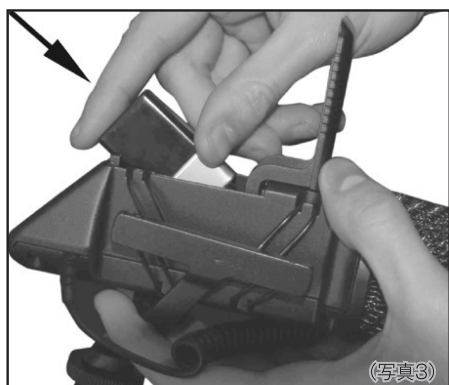
通常、品質の良いアルカリ電池でSVMを約60時間以上使用することが出来ます。ただしそのパフォーマンスは、保存期間や環境温度によっても変化します。実際の使用時間は状況によって異なりますので、常にスペアの電池を携帯するようにしてください。

※電池の寿命による音質への影響が気になる場合は、録音セッションを行う度に新しいアルカリ電池に交換することをお勧めします。

電池交換の際はマイクの上部に親指を当てて(写真1) カバー部を静かにスライドさせ、蓋を持ち上げます。(写真2)



電池を入れます。(写真3) コンパートメントの構造により、逆向きだと電池が収まらないようになっています。



カバーを元に戻して電池の交換は完了です。続いてマイクをカメラに取り付けます。

電池の液漏れによる破損が考えられますので、SVMを長期間使用しないときは、必ず電池を取り除いて下さい。

STEREO VIDEOMICの取り付け

●ショックマウントについて

SVMには本体の底に、スタンダード・カメラシューマウントが組み込まれています。(写真4) カメラのモーターノイズやハンドリングノイズを軽減するためにデザインされたショックマウントは、三脚/ポールマウント用に3/8インチとカメラ規格のネジ穴も空けられています。



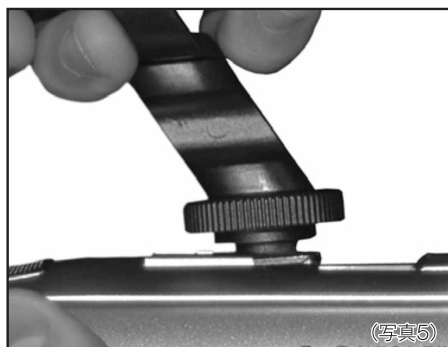
●マイク構造

古いカメラやローコストのカメラなどでノイズが多い機器と一緒に使用する場合は、ハイパスフィルター (HPF) スイッチをONにしてください。(図8 / P6参照) 余分な低域のノイズをカットします。

またカメラに内蔵されているマイクがこれらのノイズを拾わず、SVMが拾ってしまうことがあります。これは、カメラの内蔵マイクがあくまでも基本的な集音用にデザインされているためです。こうしたマイクのほとんどがモーターノイズなどの音を極力集音しないように設計されていますが、肝心の音質や指向性などに関しては殆ど考慮されていません。

(最新のカメラの中にはローノイズ、低振動のモーター内蔵で、静かに使用できるものもあります)

カメラシューを取り付ける前に、締付リングを半時計回りに回しておく、取り付けやすくなります。(写真5) カメラに取り付けたら、締付リングを時計回りにまわし、SVMを固定します。少し緩んでいるように感じられるかもしれませんが、これはショックマウント構造の為で、不具合ではありません。



●マイクの接続

SVMはミニ・ステレオフィォーンプラグを通して、マイクレベル信号をビデオカメラに送ります。

ミニ・ステレオフィォーンプラグはビデオカメラの“Audio In”端子に接続します。(写真6) 詳しくはお手持ちのカメラの説明書も併せてご参照ください。

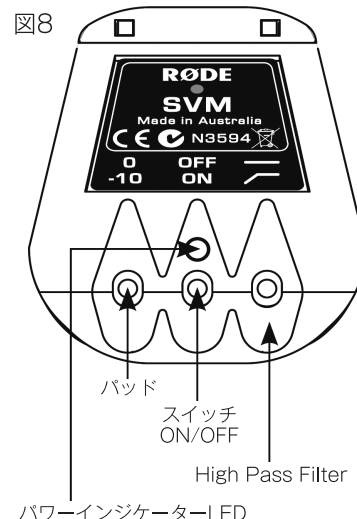


STEREO VIDEOMICの操作

・スイッチについて

SVMの取り付け、接続が完了したらマイクのスイッチをONにします。マイク本体の後方にはパッド(-10dBのレベルカット)、ON/OFF、High Pass Filterの3つのスイッチがあります。HPFは主に録音中の振動音やその他低周波数帯のノイズを取り除きます。音色に微細な影響を与える事がありますが、状況によってはその効果が必要なこともあります。

マイクの電源を入れると、パワーインジケータLEDが0.2秒程赤く点滅し、電池が十分に残っていると緑色に変わります。電池の残量が少なくなってくると、LEDは再び赤に戻り、電池の交換時期であることを表します。LEDが赤く点灯しても約1時間ほどは使用できますが、そのパフォーマンスは十分なものではありませんので早めに交換してください。



●オーディオレベルの調整

カメラのオーディオレベルを設定する際、最適な信号を得るためには、ピークの75%程度に調整する必要があります。(多くのカメラではカメラメニューよりこの設定を行うことが出来ます) 録音を開始する前に、実際に録音する音源か、同様のレベルの音源でこの調整を行ってください。レベルが高すぎると入力が歪んでしまうことがあります。この調整に関してはカメラのマニュアルも併せてご参照ください。

SVMは電波を発する機器による妨害を高い確率で除去する様、最適化されていますが、レコーディングに与える影響を最小限にとどめる為に、半径2m以内の場所にはトランスミッター、携帯電話等を持ち込まないようお勧めします。

ウィンドシールド

SVMには専用にデザインされたウインドジャマーが付属します。わずかな空気のノイズでもサウンドに影響を与えることがあるので、ウインドジャマーは外さずに使用してください。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

